

# bottom line amp one



Operating Instructions (Preliminary) 取扱説明書

## 目次:

1. はじめに
2. ご使用に際して
3. コンセプト
4. 操作パネル部分
5. 基本的な操作方法
6. テクニカルデータ



## 1. はじめに

BOTTOM LINE amp one をご購入頂きありがとうございます。我々は世界中のベーシストが満足するベースアンプを提供したいと願い、開発に多くの時間をかけてきました。本製品は、プロユースに対応するコンパクトかつハイパフォーマンスなベースアンプです。素晴らしい音色とは、楽器本体のみからだけでなく、セット全体の中から奏でられるものなのです。楽器、ピックアップ、ケーブル、プリアンプ、パワーアンプ、ラウドスピーカー等、様々な要素を通して奏でられる音が、「プレイヤー自身の音」を形作って行くのです。本製品がその一部分を担うのに多いに貢献し、それに満足して頂ける事を願っております。





#### ・電源を入れるまでの手順

本製品は日本市場向け製品であるため、日本国内（100V電源）にてご使用下さい。  
本製品の電源を入れる前に、'Master'は0ポジション（反時計回りに回してそれ以上いかない箇所）に、その他全てのコントロールは中央のポジションにセットして下さい。そして配線を行って下さい。以上の手順の後、リアパネルにある主電源のスイッチを入れて下さい。緑色の電源ランプが点いたら操作可能です。

#### ・設定

まず初めに下記をチェックして下さい。

演奏前の状態

ミュートスイッチ：OFFになっている事を確認

楽器のプリアンプ：EQがセンターポジションになっている事を確認

ゲイン：おおよそ1/2～3/4になっている事を確認

以上を確認した後、'Master'コントロールを0ポジションにセットし、'clip'が若干点滅するまでゲインを上げて下さい。

もしこの現象が9時から11時の方向にて発生したら、楽器とプリアンプの

a) inputレベルが正しく設定されている

b) ノイズレベルが最小に設定されている

という事を意味します。「ヘッドルーム」ダイナミックリザーブを加えるため、ゲインを少し下げて下さい。最後にお好みの音量に'Master'コントロールでセットして下さい。通常'clip'が点灯するという事はinputシグナルが大きすぎる事を意味します。若干の点滅なら問題はありません。clip表示が点灯し続けている状態の場合、最適なレベルで歪みの少ない演奏を実現するために、ゲインコントロールを若干下げて下さい。

必要に応じて'mute'スイッチも活用して下さい。ミュートはフットスイッチでの切り替えも可能です。

#### ・サウンドコントロール

本製品の3バンドサウンドコントロールは技術的にも、パラメータ的にも完璧を目指すため、ミドルEQには周波数帯域を調整出来るタイプが搭載されています。

#### ・コンプレッサ

本製品に搭載されているコンプレッサは、最適なダイナミクスが得られるようコントロールされており、入力レベルの異なる様々なソースに対応可能です。

#### ・フットスイッチ

ステレオケーブル仕様の標準的な、ダブル・フットスイッチを'footswitch'ジャックに接続して使用する事により、ミュート及び、エフェクト・ループ(send, return)のON/OFF切り替えが出来ます。

(Tip = ミュート、Ring = エフェクト・ループON/OFF)

本製品を開発するにあたり小さくて持ち運びやすい、一方でプロユースでパワフルな製品を、と心掛けました。

革新的で経験豊富なベーシストは長い歴史の中でたくさんいました。エレキベースは間違いなく「ソロ」として注目されるに値する楽器として位置付けられてきており、バンド演奏の際や音楽制作の際には必要不可欠な楽器となっております。

#### 1、

アンプを介した後に歪みが少なく、かつ強く深みのあるベース音を再生する事は、物理学的にも永遠の課題であり、どの程度尽力すれば、いかに人間の聴覚を満足させる事が出来るのか、という事も同様な課題です。中・高音域で本当に深みのある音を再生しようとするならば、もう少しパワーがあった方が良かったとも思われます。本製品の目的は、楽器本来の音を様々な状況に応じてバランス良く再生する事です。理論的に見ると下記を原因とする問題が少々あるかもしれません。

- ・人間の耳は他の音域に比べて中音域を聞くのに非常に優れている事。
- ・楽器自体が、一定の演奏をしても、一定の音を奏でるとは限らない事。音域や音の広がり方によって、又音源の振動の仕方によっても音の聞こえ方は変わってくる事。
- ・より深みのあるベース音を再生しようとするならば、更なるパワーと、より頑丈な材質で作られていた方が良い事。

#### 2、

近年の音楽シーンの中でベースは必要不可欠です。アンプを使ってベースを演奏する事により、演奏自体の質を左右する可能性すら有るのです。しかしながら、その楽器自体の価値に対して、品質の良いアンプの供給が不足しているように思います。優れたアンプとは、ベースが複雑なトーンコントロールでバランスのとれたシグナルを供給出来るように、緻密に設計されるべきなのです。ピックアップ、プリアンプ、パワーアンプ、それぞれたくさんのコントロールがあり、異なった質を持ち合わせている中で最良の音質を奏でるのは、ほんのわずかな領域です。オーディオシステム全体の中でボルテージの違いによる雑音を防ぐための適切なシグナル送信や、パワーアンプ又はパワーサプライからのダイナミクスを余す所無く再現するには、やはり限界があります。このような複雑な問題を解消し、理想の音を追求するために選択した様々なシステムが本製品には搭載されています。これにより、プレイヤーの求める音が奏でられるはずなのです。

- ・強力なパワーサプライ、ハイドライブ・リザーブを持つアナログ200ワットのアンプで追求すべき音を実現します。
- ・専用設計のアナログ・シグナル・プロセッサは、本来十分に必要な「ヘッドルーム」の少ない状態でも、完璧なパワーを発揮出来るよう開発されており、その事が本製品にコンパクトかつ軽量である状態をもたらす、更にはラウドスピーカーをプロテクトしつつ、アンプ出力の安定化を計る事を可能にしました。これらの「クローズドシステム」（パワーアンプ、プロセッサ、ラウドスピーカー）はそれぞれが最適な状態に調整されており、オーバーローディングを抑えて最大のパフォーマンスを見せてくれる事でしょう。
- ・本製品に搭載されている「SICA」のラウドスピーカーはベース音再生に非常に適しており、特に小さなバスレフレックスであるという状況下において、如何なく効果を発揮します。
- ・本製品のキャビネットは、特殊な接着剤で接合、固定された15mmのパーティ合板(13層)で出来ており、大きな負荷にも耐えうる事が出来ます。

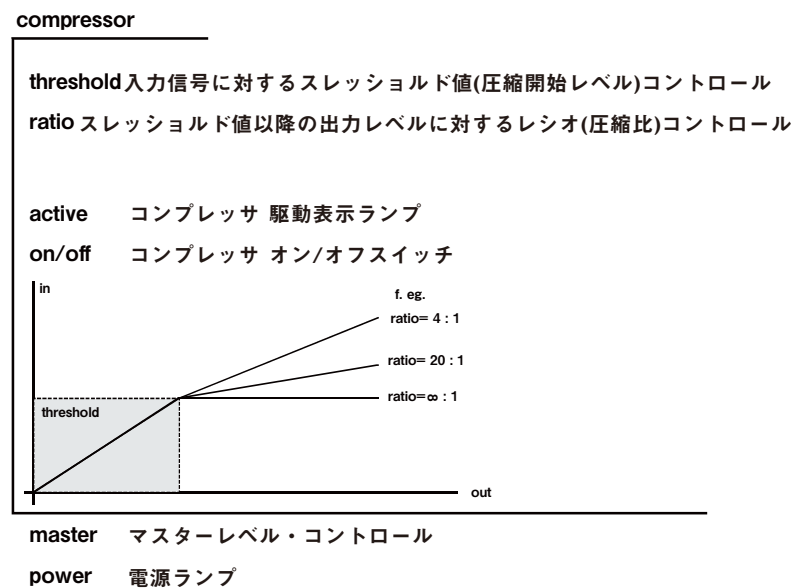
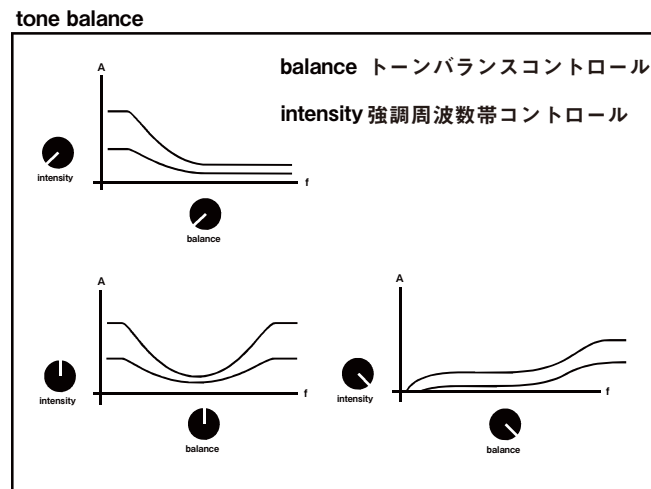
その他、装備している機能を下に示します。

- ・コンプレッサ
- ・調整可能なDI out XLR
- ・Line out, tuner out, headphones out
- ・フットスイッチ接続
- ・pre, postイコライザーインサート
- ・エフェクトループ
- ・グラウンドリフト



- input** 1/4インチ(6.3mm)フォン・ジャック
- high/low** 入力感度切り替えスイッチ
- gain** 入力レベル・コントロール
- clip** 過大入力の際のインジケータ
- mute** ミュート(消音)スイッチ

- equalizer**
- colour** ミッド・カット・トレブル・ブースト・スイッチ
  - bass** 低音域コントロール
  - bass boost** 低音域ブースト・スイッチ
  - middle** 中音域コントロール
  - freq.** 中音域コントロールのピーク周波数位置調整用
  - bandwidth** 中音域コントロールの調整周波数帯切り替えスイッチ
- 
- treble** 高音域コントロール



- gnd lift** グラウンド・リフト切り替えスイッチ
- headphones** ヘッドフォン接続端子(接続した場合、メインスピーカーからは音が出なくなります)  
※ヘッドフォン以外は接続しないで下さい。L.R.が内部接続されているためモノラルプラグを接続しないで下さい。
- line out** プリアンプレベル信号出力端子
- sub out** アクティブ・サブウーハーへの出力端子
- footswitch** ミュート及びエフェクト切り替え用フットスイッチ接続端子 (詳細は5.の基本的な操作方法をご覧下さい)
- send** 外部機器への出力端子
- return** 外部機器からの入力端子
- insert pre eq** プリEQレベルのインサート端子
- insert post eq** ポストEQレベルのインサート端子
- aux in** CDプレイヤー等の外部音源の入力端子
- tuner** チューナー用出力端子
- aux level** aux in 入力レベルコントロール
- pre/post** DIアウト信号のプリ/ポストEQ出力選択スイッチ
- DIレベル** DIアウト出力レベルコントロール
- DI** ダイレクトアウト端子(プリマスター・レベル)
- power on** 電源スイッチ、電源ケーブル接続端子、ヒューズホルダー